さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

山梨の歴史や文化 アートで〝再発見〟

「富士山芸術祭」各地で開催

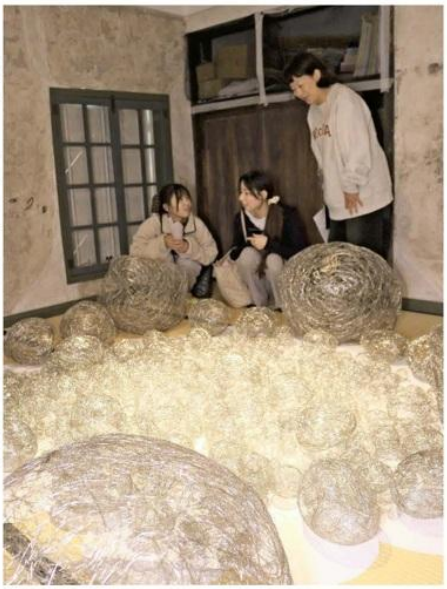
国内外で活躍する山梨ゆかりのアーティストらが参加する「富士山芸術祭2026」が県内各地で開かれている。山梨に受け継がれてきた歴史や文化、自然などにアートの力で光を当てて地域に眠る価値を掘り起こし、未来へとつなぐ試み。訪れた人たちは作品鑑賞にとどまらず、アーティストとの対話や体験イベント、スタンプラリーなどを通し、4年に一度のアートの祭典を楽しんでいる。

全体テーマに「生きる」を掲げ、アーティスト45人が参加。美術館に限らず、寺や歴史的建造物、酒蔵などを展示・パフォーマンス空間としている。

実行委員長の石田泰道さんは「いろいろなアーティストが空間を読み解きながら、面白い展開をしている。見逃すのはもったいない。地元の人にもぜひ見てもらいたい」と話している。

15日まで（開催期間は会場によって異なる）。全会場を巡ることのできるパスポートチケットは2800円で、各会場の受け付けで購入可。パスポートがない場合は各会場ごとに入場料や入館料が必要となる。会場ごとの参加アーティストや開催期間などの詳細は富士山芸術祭のホームページで確認できる。

〈村上裕紀子〉



金属糸を使った熊井恭子さんの作品＝甲府・富岡家住宅

（2026年11月6日付 山梨日日新聞20面）

問1

「富士山芸術祭2026」は、どのような目的で開かれていますか。

.....

問2

来場者は作品を見るほかに、どのようなことを楽しめますか。3つ答えてください。

・.....　・.....　・.....

問3

作品の展示やパフォーマンスは、美術館以外に、どこで行われていますか。3つ答えてください。

・.....　・.....　・.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.